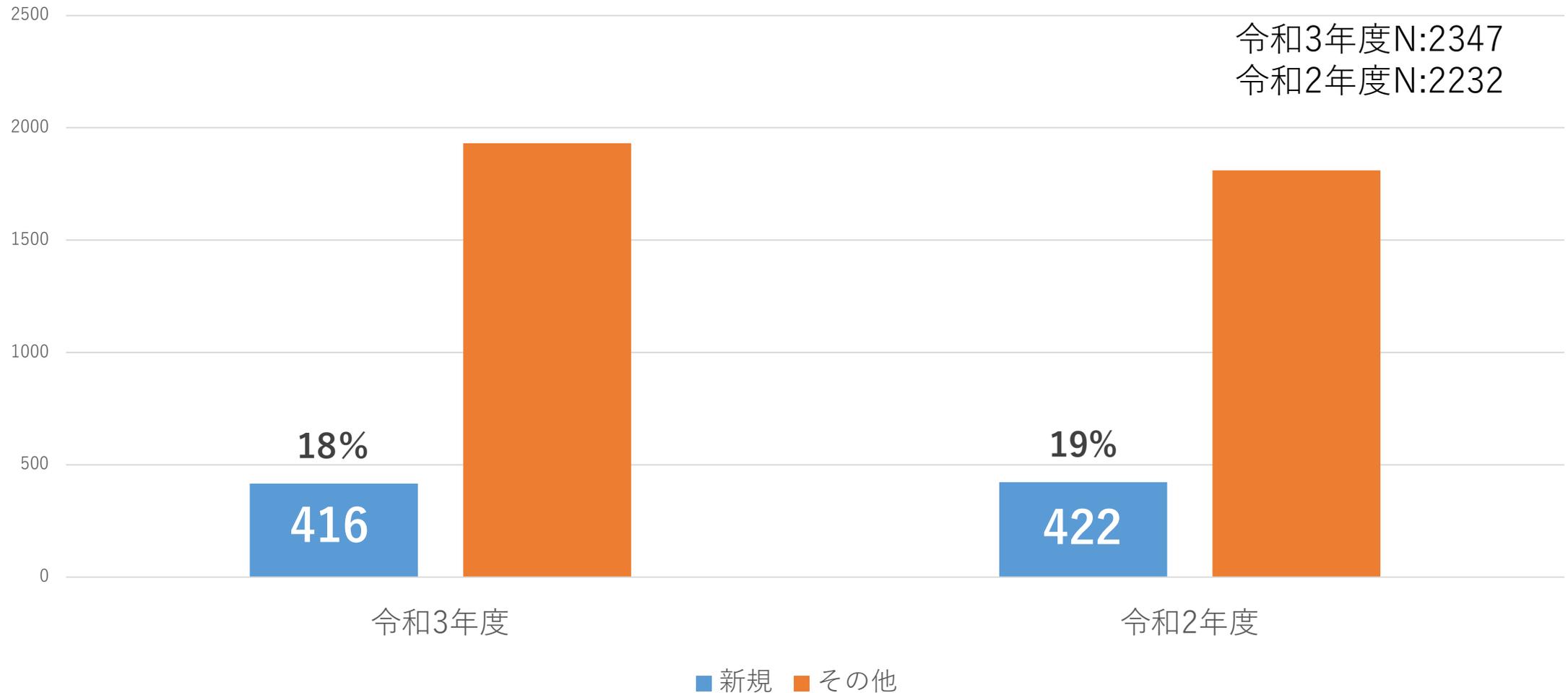


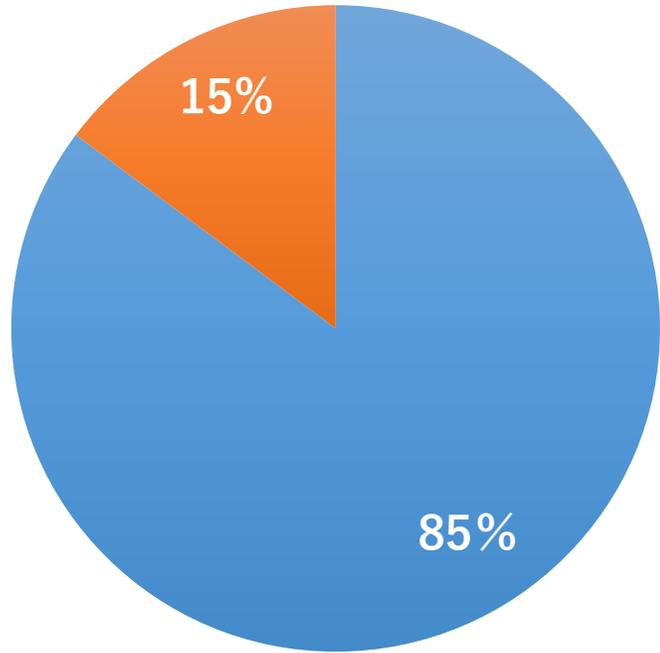
令和3年度 委託相談支援事業者実績報告

1.相談支援を利用した障害者等の新規人数の比率 令和2年度との比較（実人数）



2.相談支援を利用した障害者等の数値（実人数）

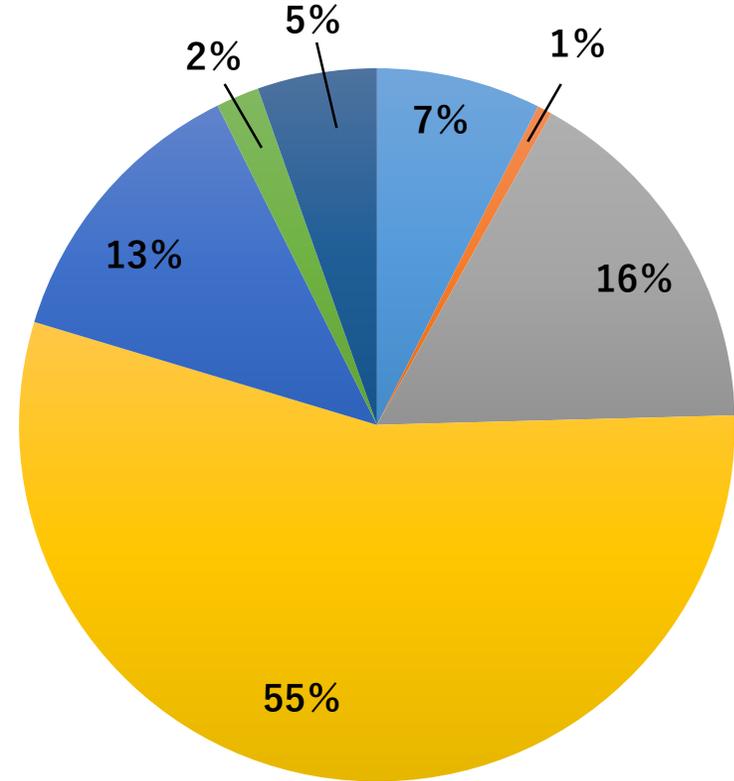
障害者・児の比率



■ 障害者 ■ 障害児

N.2347

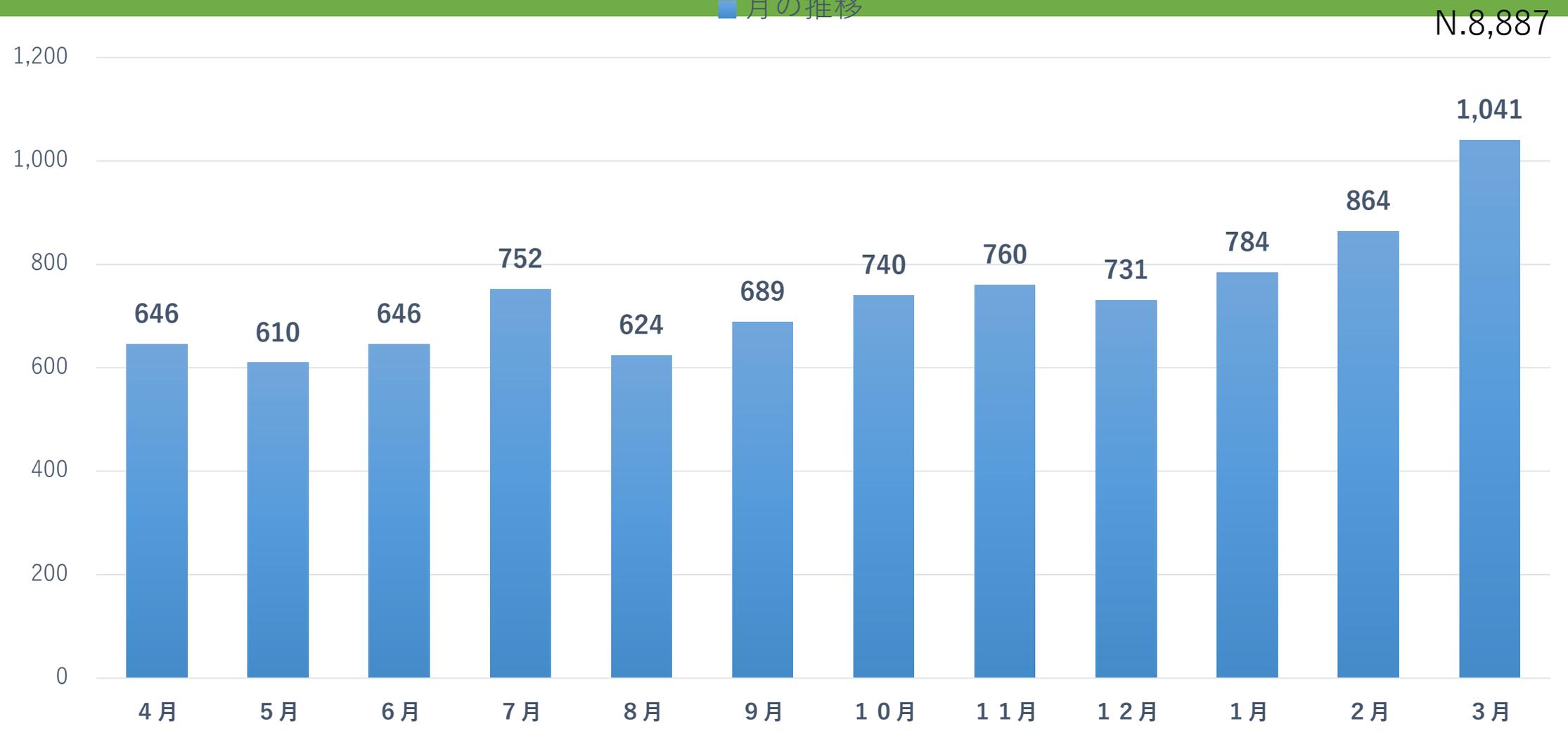
障害内訳



■ 身体 ■ 重心 ■ 知的 ■ 精神 ■ 発達 ■ 高次脳 ■ その他

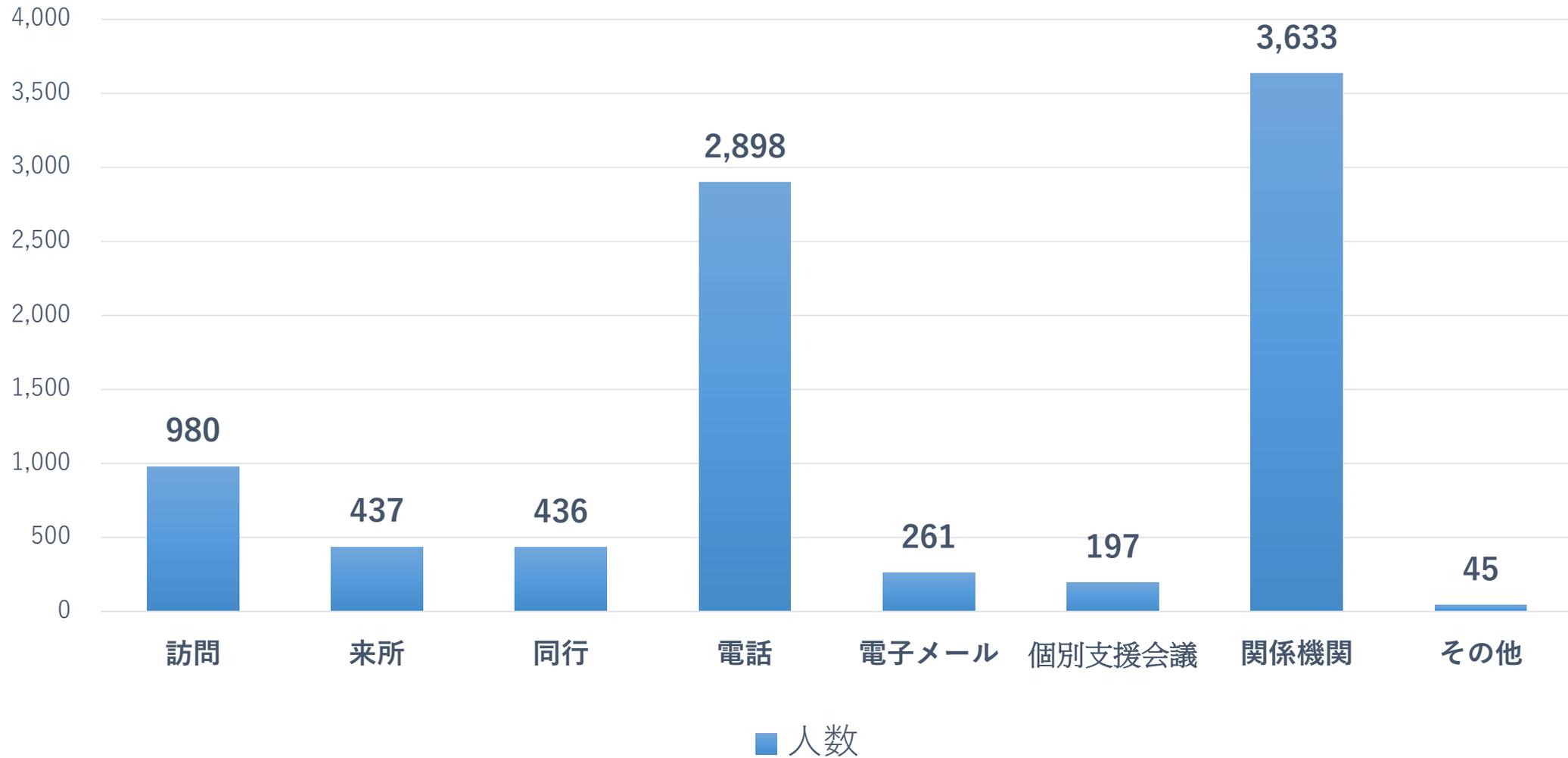
3.相談支援を利用した障害者等の数値（延件数）

■月の推移



4.支援方法（延件数）

N.8,887

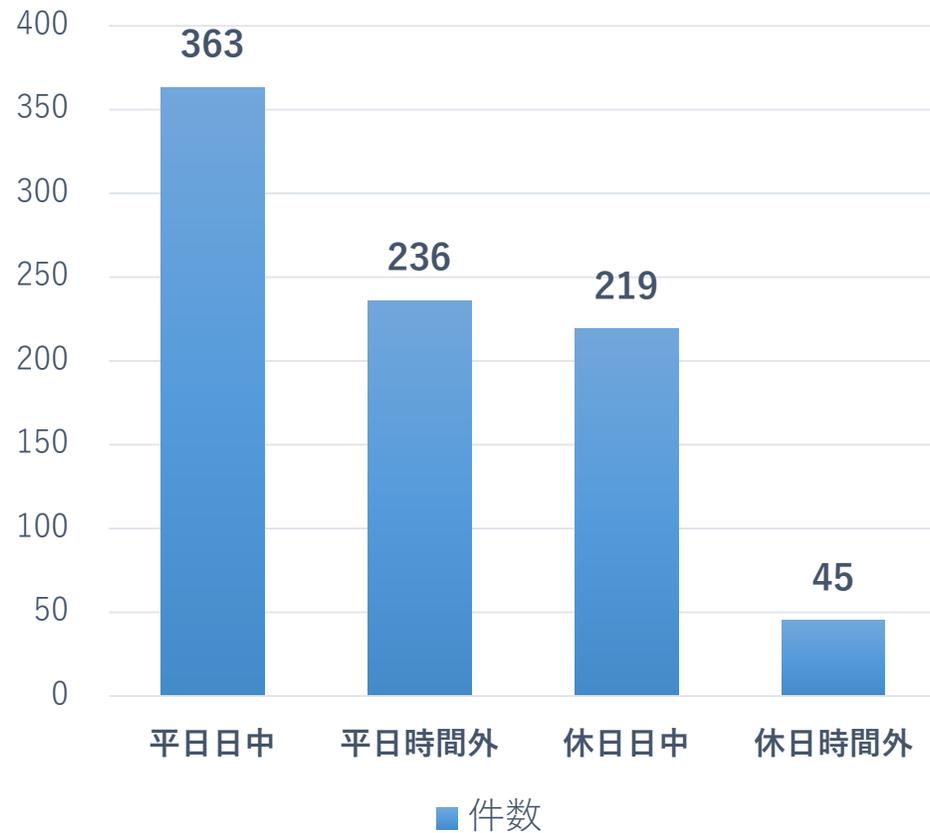


5.相談内容 (複数延件数)

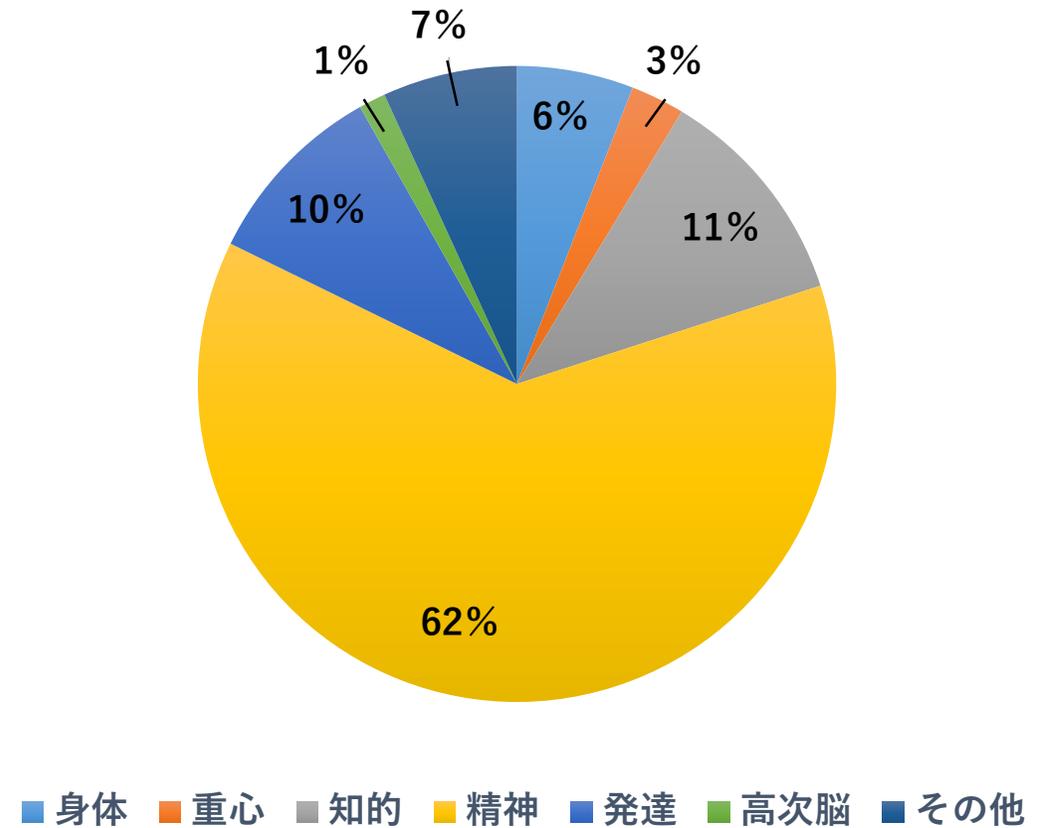


6.緊急・時間外休日対応（拠点のみ）

対応時間帯 N.863（延件数）



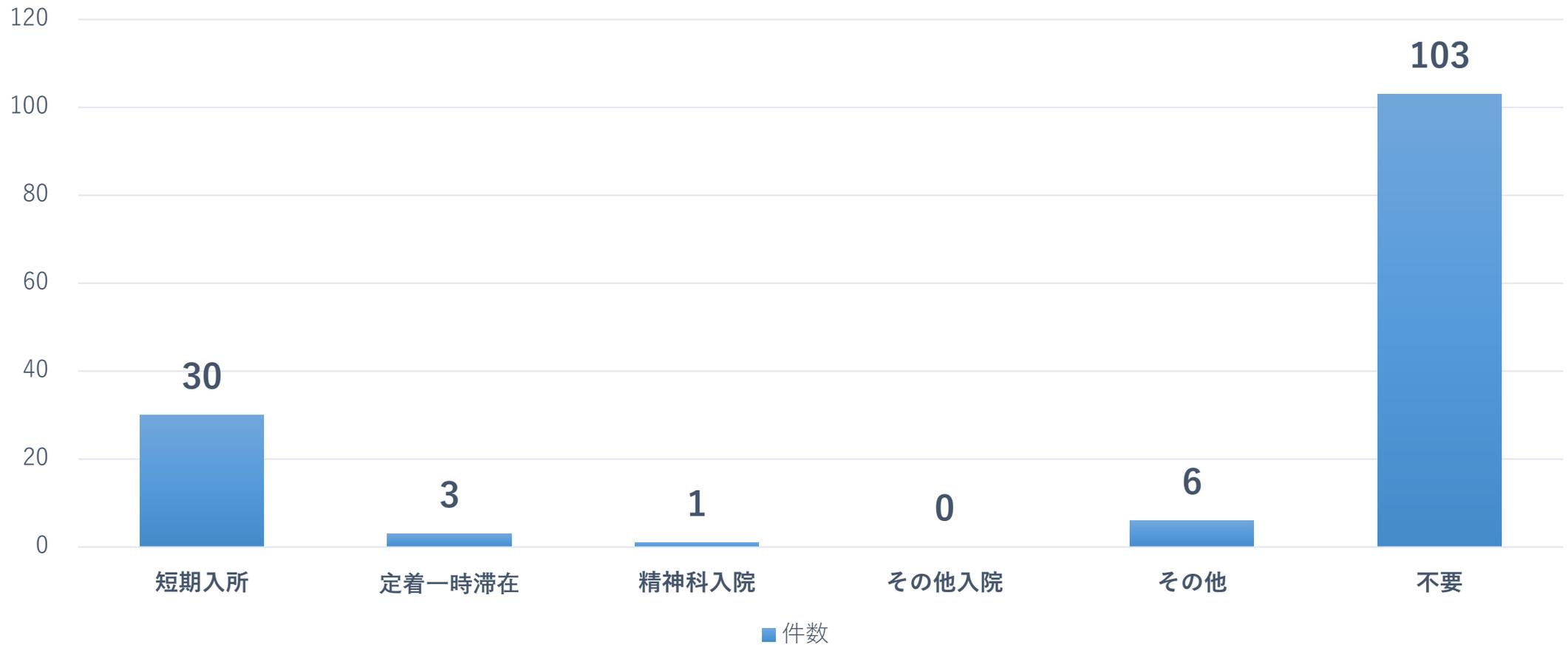
障害種別 N.220（実人数）



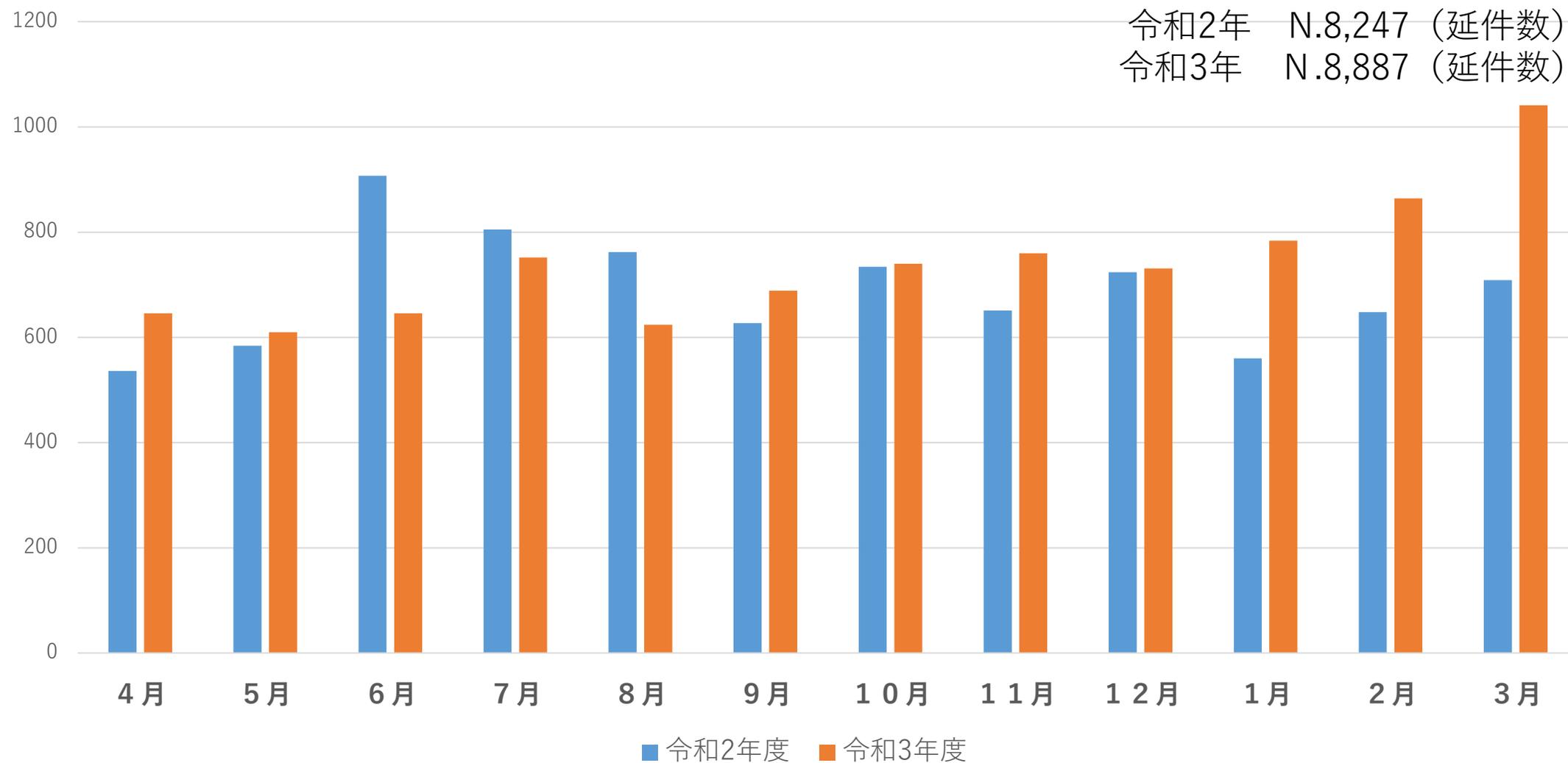
7.緊急・時間外休日対応（拠点のみ）

緊急受け入れ・対応の結果

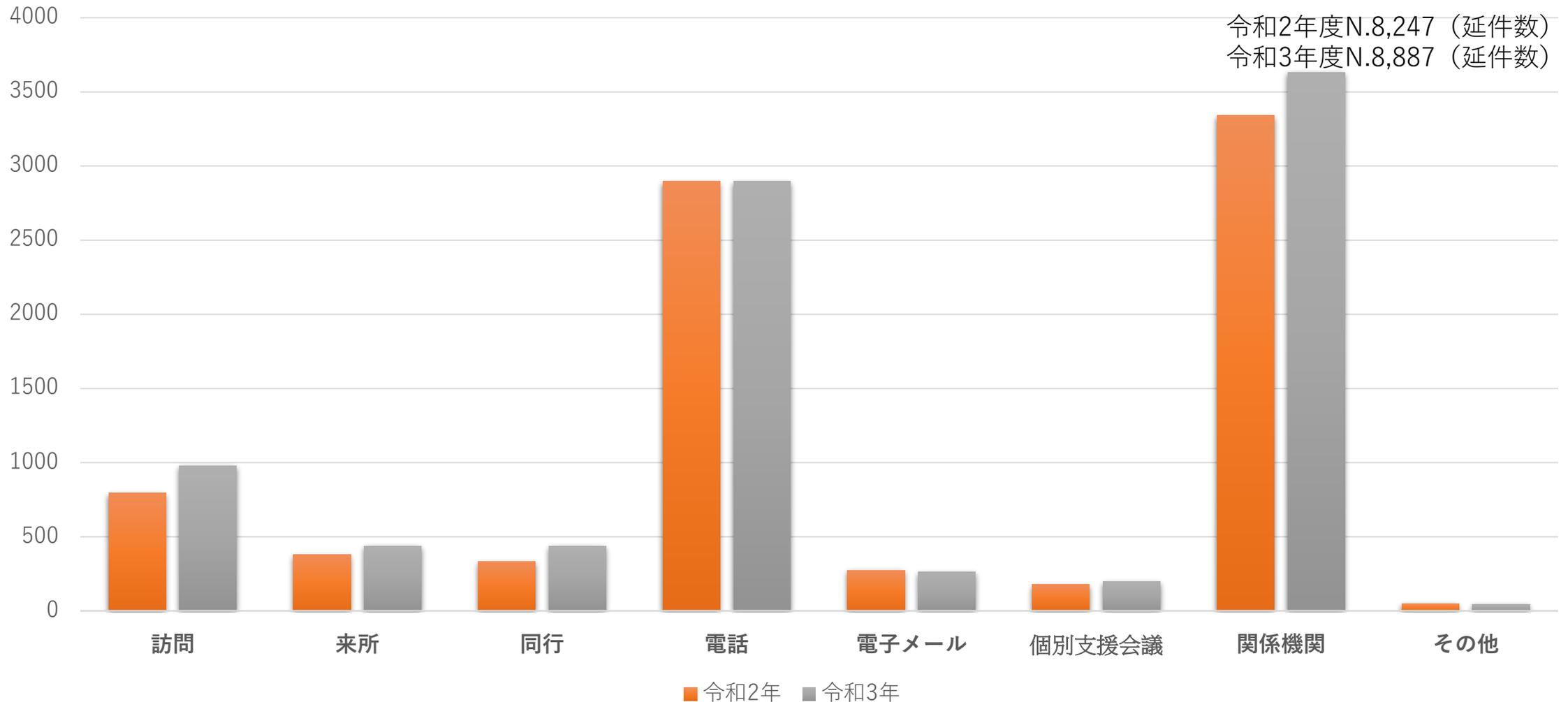
N.143（実人数）



8.相談支援を利用した障害者等の数値を令和2年度と比較

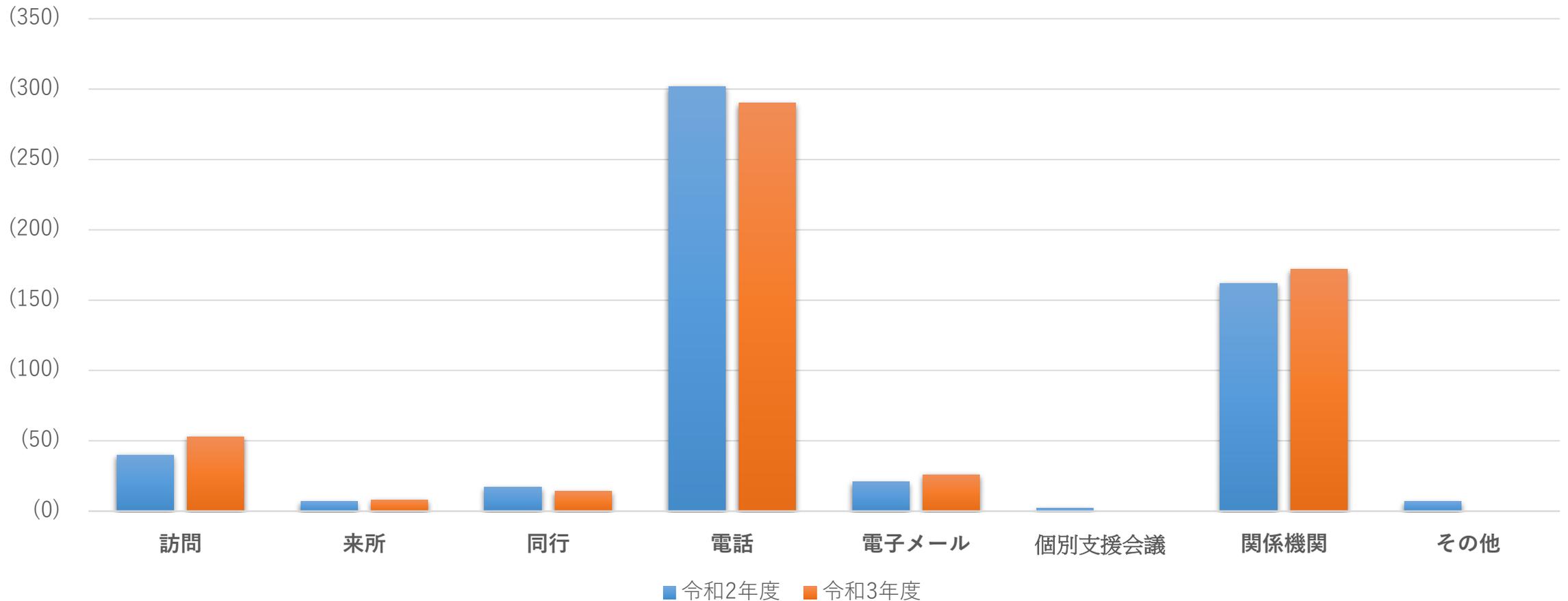


9.支援方法を令和2年度と比較

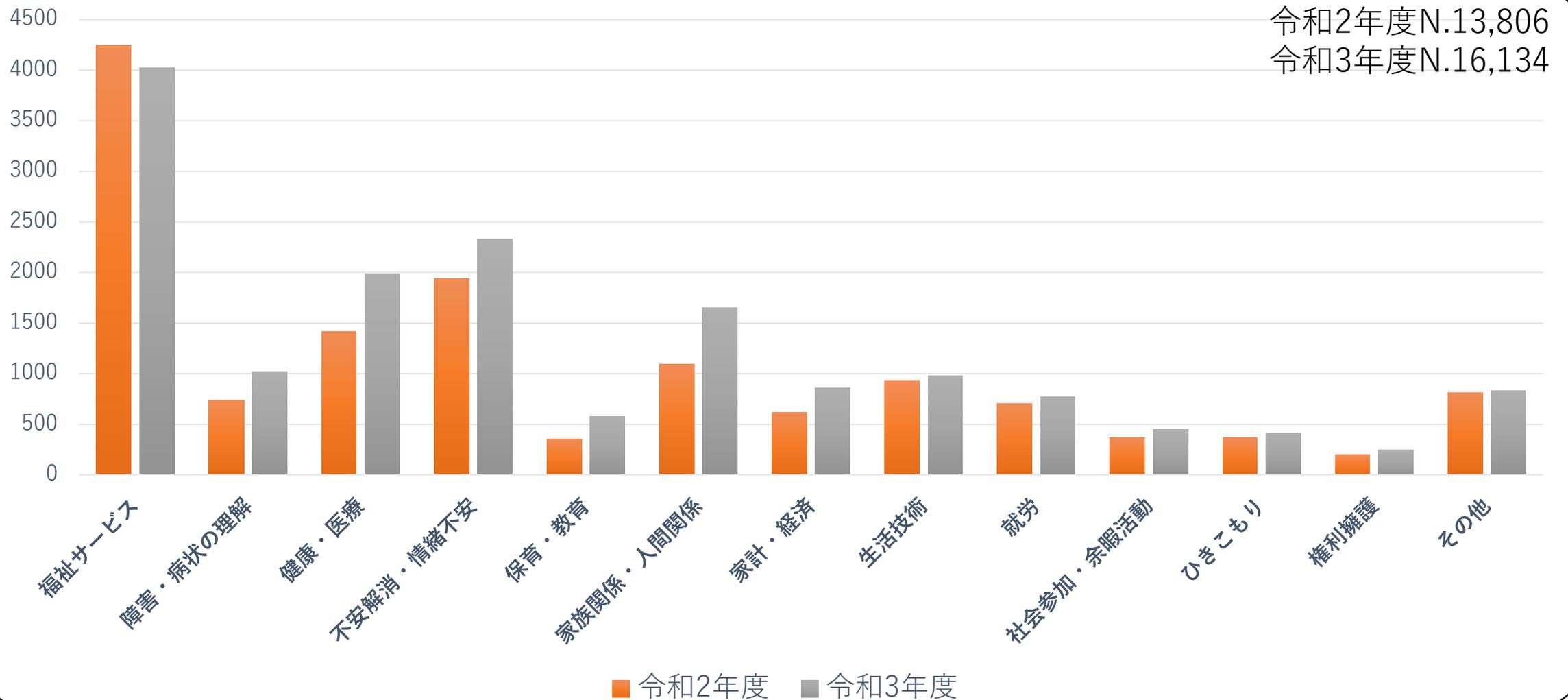


10.支援方法を令和2年度と比較

(内)緊急・時間外休日対応



11.相談内容を令和2年度と比較



まとめ1

- 相談の実人数は令和2年度より110人程増加。新規相談人数は横ばいでした。
- 相談は成人の障害者が8割を占めていました。児童の相談では計画を書いてほしいとの相談が多いですが、地域の相談支援事業所で受け持てる事業所が少ない状況があります。
- 相談は精神に障害をお持ちの方が5割を占めていました。
- 月別にみると3月が一番多かった。
- 支援方法では、関係機関との調整連絡が一番多く、次いで電話での相談が多かった。
- 相談内容では、福祉サービスの相談が一番多く、次いで不安の解消、健康問題の順になっていました。
- 地域生活支援拠点のみの集計では、平日日中の緊急相談及び時間外休日の相談は年間1000件近くに及んでおり、精神に障害をお持ちの方の相談が6割を占めていました。
- 緊急案件での対応状況としては、約7割が調整不要で相談対応のみでした。

まとめ2（令和2年度との比較）

- ・月別に見ると、6月から8月までは令和2年度が多く、9月から3月までは令和3年度の方が多かった。新型コロナの影響があるのかは不明です。
- ・支援方法では、通常時及び緊急時に変化はありませんでした。
- ・相談内容では、同様の傾向にありますが、健康及び不安相談及び人間関係については令和3年度の方が増加していました。新型コロナの影響かは明確には言えませんが、考慮すべき案件と考えています。